

投稿・執筆規定

オペナーシングでは、周術期看護の向上のために日頃ご活躍されているナース、医師、その他手術に関わる方々の誌面へのご参加をお待ちしております。随時、ご投稿ください。

- 1) 事例検討 4800字以内
- 2) 原著論文 4800字以内

◇投稿規定◇

- 編集の都合により原稿の加筆訂正をお願いする場合がありますのでご了承ください。なお本文原稿は送付の際に、必ずコピーにて控えをおとりください。
- 掲載原稿につきましては、掲載誌1部と別冊30部をお送りいたします。
- 掲載は原則として受け付け順としますが、編集上の都合により多少変更することがあります。また、内容によりましては、専門家による査読期間をいただくことがありますので、あらかじめご了承のほどお願いいたします。
- 本誌に掲載された論文・記事の著作権は執筆者ご本人に帰属いたします。ただし、複製権・翻訳権・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権（送信可能化権を含む）は当社にて所有・管理させていただきます。
- 執筆に際しては〈執筆規定〉を遵守してください。
- 他誌・学会に投稿中・投稿予定の原稿はご遠慮ください。

◇執筆規定◇

- ① 標題、著者名、肩書き、連絡先は1枚の原稿用紙にお書きください。共同執筆者は6名までとします（それ以外は「ほか」としてください）。
- ② 原稿は、横書き、当用漢字（ただし通常用いられる専門用語は当用漢字以外も使用します。例：動脈りゅう→動脈瘤）。新かなづかいとし、数字は算用数字、数量は単位記号（原則としてSI単位）を使用してください。
- ③ 外国語はタイプまたは活字体ではっきりお書きください。人名、地名など、固有名詞の最初の文字、略語（例：London、IHV）は大文字とし、その他は小文字で表記します。また、難解な語は訳語を（ ）内に記し、すでに日本語として定着した語（例：カテーテル、バイタルサイン）はカナ書きにしてください。
- ④ 薬品名は一般名を用い、商品名を使う場合は一般名のあとに®を付け、（ ）で書き入れてください。
例：ドブタミン（ドブトレックス®）
- ⑤ 細菌名はイタリック体としますので、アンダーラインでお示しください。（例：*pseudomonas*）
- ⑥ 図表・写真はそれぞれ2枚を原稿用紙1枚分と換算します

が、特に大きなスペースを必要とするものについては適宜換算してください。図1（写真も図として扱う）、表1として表記し、キャプションを付け、原稿欄外に挿入箇所をお示しください（←図1入る）。図・イラストを編集部で仕上げる場合は、ラフ・原稿にご希望・注意事項を付けてご指示ください。

- ⑦ 文献の表記につきましては以下をご参照ください。
〈雑誌の場合〉著者名、論文名、誌名、巻数（号数）、出版年、通巻ページ。
〈書籍の場合〉著者名、論文名、書名、編者名、出版地、出版社、出版年、ページ。
* 著者名は原則としてはじめの1名とし、その他の著者名は、和文の場合は「ほか」、欧文の場合は「et al」を用いて省略してください。雑誌名は原則として、和文誌名では完全誌名、欧文誌名では国際的慣行にしたがって略記形を記載してください。略記形が不明の場合は、完全誌名を記述してください。
- * 他の文献から引用の場合は、あらかじめ著作権者の了解を得てください。原著者との交渉は執筆者にてお願いいたします。また、引用のものには著者名、書名または雑誌名、頁、発行年、発行所を明記ください。
- ⑧ パソコンで執筆される場合は、メール、あるいはCD-R・USBにデータをコピーして郵送をお願いします。
- ⑨ 写真（プリント、スライドとも）、CD-R・USBは、誌面にて採用された場合、使用後にご返却いたします。
- ⑩ 以上の規定に基づき、読者にできるだけ理解しやすく読みやすくするために、元の文意を損なわない範囲で一部字句の修正および表記の統一をお願いする場合があります。

原稿の送り先

〒532-8588 大阪市淀川区宮原3-4-30
ニッセイ新大阪ビル16F
株式会社メディカ出版オペナーシング編集室
ope@medica.co.jp

- * 電子メールでのご入稿の際は、必ずプリントアウトを郵送ください。